

【リビジョンアップ】 フラッシュメモリプログラマ PG-FP6 用 プログラミング GUI 「FP6 Terminal」 V1.15.00

R20TS1104JJ0100
Rev.1.00
2025.01.20

概要

フラッシュメモリプログラマ PG-FP6 用プログラミング GUI「FP6 Terminal」を V1.14.00 から V1.15.00 にリビジョンアップしました。PG-FP6 の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/pg-fp6>

リビジョンアップされた FP6 Terminal を PG-FP6 に接続することで PG-FP6 のファームウェアもリビジョンアップされます。

1. リビジョンアップ内容

主なリビジョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。
(1月20日より掲載予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/pg-fp6#document>

1.1 機能改善・変更点

- 「ブランク領域をスキップしてリード」を使用した場合のメモリ読み出しの高速化

FP6 Terminal で「メモリの読み出し」ダイアログの「ブランク領域をスキップしてリード」を使用した時（PG-FP6 通信コマンドでは skipblank オプションを指定して read コマンドを実行した時）のターゲットデバイスからのメモリ読み出しの速度が向上しました。

- 設定ファイル作成と異なるターゲットデバイスに接続した時のエラーメッセージの改善

設定ファイル作成時と異なるターゲットデバイスに接続した場合に出力する FP6 Terminal のエラーメッセージを分かりやすい内容に改善しました。

- sig コマンドの出力フォーマットの変更

【対象】 RA8D1, RA8M1, RA8T1

sig コマンドの出力フォーマットを変更しました。

変更前	変更後
[DLM Key Injection]	削除
AL2 KEY	AL2 Key
AL1 KEY	AL1 Key
RMA KEY	RMA Key

- SWD ブート接続で複数回タイムアウトエラーが発生した時のエラー処理の仕様変更

【対象】 RA4E2, RA4T1, RA6E2, RA6T3, RA8D1, RA8E1, RA8E2, RA8M1, RA8T1

従来、SWD ブート接続時に複数回タイムアウトエラーが発生した場合には FP6 をシステム異常エラーとして停止していましたが、これを停止しないように仕様を変更しました。

- 0xFF 補完設定の変更がプロジェクトを開いたときの設定に戻る現象の修正

FP6 Terminal で通信インタフェースの変更またはプログラムファイルを追加した際に、0xFF 補完設定の変更がプロジェクトを開いたときの設定に戻る現象を修正しました。

2. アップデート方法

FP6 Terminal は無償でオンラインアップデートができます。以下の URL からインストーラをダウンロードしてインストールしてください。（1月20日からインストーラ掲載予定）

<https://www.renesas.com/software-tool/pg-fp6#download>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Jan.20.25	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。